

Q1

どうして、
イオンのお店には
木が植えて
あるの？

Q2

なぜ、お店に
太陽光パネルを
つけているの？

Q5

どうして、
マイバッグを
使うの？



Q6

近所の友だちが
参加している
『イオン チアーズ
クラブ』って何？



植樹にご参加いただいたお客さまの声



「植樹の取り組みは以前から
知っていましたが、実際に参加
したことで植樹への関心を高める
きっかけとなりました。」
「イオン ふるさと森づくり」にご参加
いただいたお客さまより



「木を植える喜び・楽しさを
味わいました。またいつか、
自分が植えた木の生長ぶりを
見にいきたいですね。」
(公財)イオン環境財団の植樹活動に
ご参加いただいたお客さまより



「被災地の状況を、
身をもって感じることができ
ました。震災を風化させることなく、
これからも何らかの形で被災地を
支援していきたいと思います。」
被災地での植樹活動にご参加
いただいたお客さまより



2013年
植樹本数が
1000万本に!

多くのお客さまのご参加・ご協力をいただき
ありがとうございます。
イオンはこれからも、木を植え、育て、活かし、
森の循環がもたらす自然の恵みを
豊かに暮らしに役立てていきます。

イオンの環境・社会への取り組みは、Webサイトで詳しくご紹介しています。

イオン株式会社 グループ環境・社会貢献部
〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
Tel: 043-212-6037 Fax: 043-212-6790
2014年6月発行



AEON

木を植えています
私たちはイオンです

イオンの 環境・社会 への取り組み 2014



これまでも、これからも、お客さまとともに

イオンのお店には、毎日の生活に欠かせない商品がいっぱい! 便利に安心してお買物を楽しむことができます。そしてそれだけでなく、お客さまにご参加・ご協力いただくことで、環境保全や社会貢献につながるさまざまな取り組みや工夫が行われていることをご存じでしょうか…?



イオンのお店で

Q3

商品についている
マークには
どんな意味が
あるの？



Q4

レシートの色が
違うのは
どうして？



質問の答えは

開いて見つけてね

これまでも、これからも、お客さまとともに。イオンの取り組みは続いています。

イオンには、
いろいろな取り組みが
あるんだね!



A1 イオンの植樹活動

お客さまとともに
豊かな自然を育み、
地域の憩いの場と
なるためです。

1991～「イオン ふるさとの森づくり」

新しくできる店舗が地域のコミュニティの場となる
ように。そして緑を育む心が、地域の人々に広がって
いくように…。そんな想いを込めて、イオンは1991年
から、お客さまとともに店舗の敷地内に植樹をする
「イオン ふるさとの森づくり」を行っています。



1992 国内初の「イオン
ふるさとの森づくり」
「イオン久居店(旧ジャスコ新久居店)」



2012 東日本大震災
で被災した地域での植樹
を開始「イオンタウン塩釜」



2013 植樹本数が1000万本に!
※(公財)イオン環境財団の植樹本数を含む

A4 地域社会への貢献

黄色いレシートは
特別なレシート。
この1枚が、地域
社会を応援します。

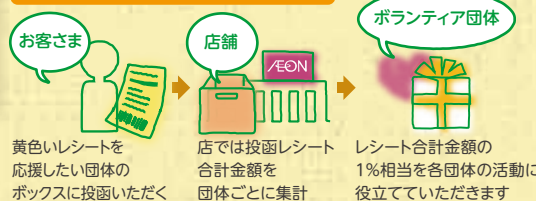
2001～「イオン 幸せの黄色いレシート キャンペーン」

サポートを必要とするボランティア団体と、地域の
活性化に貢献する団体の活動を「応援したい」という
お客さま。双方の想いを結びつけ、地域社会の一端
としてお手伝いしたい…。こうした想いから「イオン
幸せの黄色いレシートキャンペーン」が始まりました。



2013 1,368店舗で実施。総額
2億7,505万円相当の品物を贈呈

2001年～2014年2月までの累計で
22億 1,644万円
相当の品物を贈呈



A2 省エネ活動

太陽の光で発電し、
お店で使うエネルギーや
排出するCO2を
減らすためです。

2005～ 環境にやさしいお店づくり

イオンは、2005年から、従来型店舗と比べて20%
以上のCO2排出量削減を目標とする「エコストア」の
開発に取り組んできました。2013年には、エコな
お店づくりに「まちづくり」の視点を加えた「スマート
イオン」の展開を開始しました。



2005 エコストア1号店
「イオンタウン千種(旧イオ
ン千種SC)」がオープン



2008 イオンのお店で
初めて電気自動車用急速
充電器を設置「イオンレイクタウン」



2013 エコストアを進化させたスマートイオン
の展開を開始「イオンモール大阪ドームシティ」

A5 省資源活動

限りある資源を
節約するため、
マイバッグのご利用を
お願いしています。

1991～「買物袋持参運動」

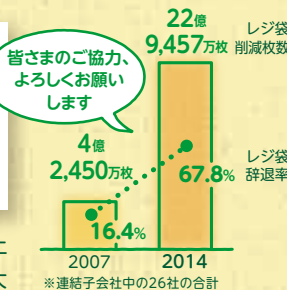
レジ袋の原料は石油。限りある石油資源を節約する
ために、イオンは1991年から、お客さまにマイバッ
グのご使用をお願いする「買物袋持参運動」を、
2000年からは「マイバスケット運動」を開始。2007
年からは「レジ袋無料配布中止」を開始しました。



2007 全国チェーン
ストアで初めて「レジ袋
無料配布中止」を開始



2013 レジ袋無料配布中止
店舗は、全国1,343店舗へと拡大



A3 商品の取り組み

お買物を通じて、
環境保全・社会貢献
活動にご参加
いただける商品です。

1993～ 環境や社会に配慮した 商品を提供。イオンの「トップバリュ」

お客さまに、より良い商品をお手軽な価格で提供する
だけでなく、地球環境の保全や社会貢献につながる
商品の提供をめざしています。



1993～ TOP VALU
グリーンアイ

自然の力を活かして
生産した農・水・畜産
物のブランドが誕生

お買物を通じて、途
上国の生産者の自
立を支援できるフェ
アトレード認証商品
の開発・販売を開始



森をまもるために適
切に管理された木材
を原料とした「FSC認
証」商品の販売を開始

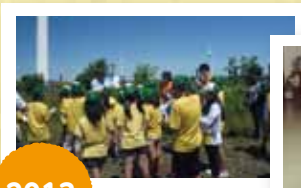
限りある水産資源の
持続可能性に配慮し
た天然魚「MSC認証」
商品、養殖魚「ASC認
証」商品の取り扱い
を開始

A6 次世代育成

お店の近くにに住む
子どもたちが集まり、
「環境」について
楽しく学んでいます。

1996～「イオン チアーズクラブ (旧ジャスコこどもエコクラブ)」

小学1年生から中学3年生までの子どもたちを対象
に、環境学習や体験の場を提供する「イオン チアーズ
クラブ」。「ゴミ」や「植物」など身近な内容から、「なぜ
地球環境をまもる必要があるのか?」を考えるきっか
けとなるよう、さまざまな活動を行っています。



2013 全国で約430クラブ約7,500人の子どもたちが
参加(写真左:風力発電を見学 右:「イオン チアーズクラブ選抜大会」)



入会申込書
※一部、実施していない店舗もございます